



TITLE:

# ネットワークとマトロイドについて (実験配置の理論と応用)

AUTHOR(S):

木下, 循

---

CITATION:

木下, 循. ネットワークとマトロイドについて (実験配置の理論と応用).  
数理解析研究所講究録 1980, 404: 130-134

ISSUE DATE:

1980-11

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/102310>

RIGHT:

## ネットワークとマトロイド

北大 木下 循

内容 Capacity にマトロイド的な制限を持つネットワークについての max-flow min-cut 定理の解説。

### 定義

$\text{Map}(E, \mathbb{Z}^+)$  で  $E$  から  $\mathbb{Z}^+$  への写像全体からなる集合を表わす。(ただし  $\mathbb{Z}^+$  は非負整数全体の集合。)

$\varphi, \psi \in \text{Map}(E, \mathbb{Z}^+)$  について  $\varphi \leq \psi \stackrel{\text{def.}}{\iff} \varphi(a) \leq \psi(a)$   
( $\forall a \in E$ ), また  $\|\varphi\| := \sum_{a \in E} \varphi(a)$  と定義する。(ただし  $E$  は有限集合とする。)

### 定義 (integral) polymatroid ;

有限集合  $E$  と  $\mathcal{F} \subseteq \text{Map}(E, \mathbb{Z}^+)$  への組  $(E, \mathcal{F}) =: M$  が次を満たすとき  $M$  を ( $E$  上の, independent vectors  $\mathcal{F}$  を持つ) polymatroid と言う。

i) 0 写像は  $\mathcal{F}$  に含まれる。

ii)  $\varphi \in \mathcal{F}$ ,  $\psi \leq \varphi \Rightarrow \psi \in \mathcal{F}$ .

iii) 任意の  $\varphi_0 \in \text{Map}(E, \mathbb{Z}^+)$  について,

$$\mathcal{F}_{\varphi_0} := \{ \varphi \in \mathcal{F} \mid \varphi \leq \varphi_0 \}$$

とおくと  $\mathcal{F}_{\varphi_0}$  のすべての極大元  $\varphi$  についての  $\|\varphi\|$  は一定。(この一定の値を  $M$  の  $\varphi_0$  における  $\text{rank}$  と言いい  $\text{rank}(\varphi_0)$  で表す.)

ここではさうに便宜上  $\max_{\varphi \in \mathcal{F}} \|\varphi\| < \infty$  を仮定する。

polymatroid  $M = (E, \mathcal{F})$  が特に  $\forall \varphi \in \mathcal{F}$ ,  $\forall a \in E$  について  $\varphi(a) \leq 1$  を満たすとき  $M$  はマトロイドと言う。この場合  $\varphi \in \text{Map}(E, \mathbb{Z}^+)$ ,  $\varphi(a) \leq 1$  ( $\forall a \in E$ ) と  $\{ a \in E \mid \varphi(a) = 1 \}$  を同一視することにより  $\mathcal{F}$  は  $E$  の部分集合の族と考えるとよい。

$\varphi_0 \in \text{Map}(E, \mathbb{Z}^+)$  に対して  $\langle \varphi_0 \rangle := \{ \varphi \mid 0 \leq \varphi \leq \varphi_0 \}$ ,  
 $M \langle \varphi_0 \rangle := (E, \langle \varphi_0 \rangle)$  と置く。  $M \langle \varphi_0 \rangle$  はポリマトロイドとなる。

以下ではネットワークの概念を拡張することを目指す。  
 有限集合  $V$  (点集合) ( $|V| = n$  とおく) と  $V$  上の  $2n$  個の  
 ポリマトロイドの族 (capacity)

$$\Pi^+ := \{ (V, \mathcal{F}_a^+) \}_{a \in V}, \quad \Pi^- := \{ (V, \mathcal{F}_a^-) \}_{a \in V},$$

の組  $G = (V, \Pi^+, \Pi^-)$  を考える。この時  $G$  の independent graph  
 2

(with capacity) で次の条件を満たす  $\varphi \in \text{Map}(V \times V, \mathbb{Z}^+)$  (或いは組  $(V, \varphi)$ ) を意味することにする。

「 $\forall a \in V$  に対し,  $\varphi(a, \cdot) \in \mathcal{F}_a^+$ ,  $\varphi(\cdot, a) \in \mathcal{F}_a^-$ 。」

次に source, 及び sink と呼ばれる特別な2点  $c, d \in V$  を固定する。

$G$  の (independent) flow (from  $c$  to  $d$ ) とは,  $G$  の independent graph  $\varphi$  でさらに  $\forall a \in V, a \neq c, d$  について  $\|\varphi(c, \cdot)\| = \|\varphi(\cdot, c)\|$  を満たすものを言う。 $\varphi$  の value  $w(\varphi)$  を  $w(\varphi) := \|\varphi(c, \cdot)\| - \|\varphi(\cdot, c)\|$  で定める。(これは  $\|\varphi(\cdot, d)\| - \|\varphi(d, \cdot)\|$  に等しい。)

$V = A \cup B$ ,  $A \ni c$ ,  $B \ni d$  なる分割 (cut) に対して, capacity  $C(A, B)$  を次のように定める;  $G$  の independent graph  $\varphi$  で  $\varphi|_{A \times A} = \varphi|_{B \times B} = \varphi|_{B \times A} = 0$  を満たすもの全体の集合を  $\mathcal{P}$  とする。このとき

$$C(A, B) := \max_{\varphi \in \mathcal{P}} \|\varphi\|$$

と置く。

定理 (max-flow, min-cut theorem):

$$\max_{\varphi: \text{flow}} w(\varphi) = \min_{\substack{A \cup B = V \\ A \ni c \\ B \ni d}} C(A, B)$$

応用例, 2部グラフに属するある命題。

(言葉が簡単になるので) - 応用デザインの言葉を使って説明する。

1 デザイン  $D = (P, B)$  ( $P_i$  点の集合,  $B$ ; 辺の集合) を

$$P = P_1 + P_2 + \dots + P_s$$

$$B = B_1 + B_2 + \dots + B_t$$

と分割した場合  $(P_i, B_j)$  について  $D$  から導かれる結合関係が簡単になる場合を考える。例えば一番単純な場合として次の  $(*)$  の性質が考えられる。

$(*) \forall i, j, \forall a \in P, \forall A \in B$  について次が成立。

$$|a \cap B_j| \leq 1$$

$$|A \cap P_i| \leq 1.$$

### 命題

正の整数  $m, n, r, s, \chi_1, \dots, \chi_s, y_1, \dots, y_t$ , (ただし,  $m = n$ ) を与える。次のような性質を持つパラメータ  $m, n, r, s$  の 1 デザイン  $D = (P, B)$  が存在するための必要十分条件は下の  $(**)$  が成立することである。

「(性質)

$$P = P_1 + P_2 + \dots + P_s, \quad |P_i| = \chi_i$$

$$B = B_1 + B_2 + \dots + B_t \quad |B_j| = y_j$$

なる性質(\*)を持つような分割が存在する。」

$$(*) \quad \forall \varphi \in \text{Map}(\{1, \dots, s\}, \mathbb{Z}^+), \quad \varphi(i) \leq x_i \\ \varphi \in \text{Map}(\{1, \dots, t\}, \mathbb{Z}^+), \quad \varphi(j) \leq y_j$$

により成立。

$$ux + \sum_{i,j} \min(\varphi(i), \varphi(j)) - x \sum_i \varphi(i) - y \sum_j \varphi(j) \geq 0$$

① 次のようなグラフ  $(V, \Gamma^+, \Gamma^-)$  ( $\Gamma^+ = \{(V, \mathcal{F}_a^+)\}_{a \in V}$ ,  $\Gamma^- = \{(V, \mathcal{F}_a^-)\}_{a \in V}$ ) により定理を適用する。

$$V = \{c\} + \{d\} + \{a_1^1, \dots, a_{x_1}^1\} + \dots + \{a_1^s, \dots, a_{x_s}^s\} \\ + \{b_1^1, \dots, b_{y_1}^1\} + \dots + \{b_1^t, \dots, b_{y_t}^t\}$$

source  $c$ , sink  $d$ .

$$\mathcal{F}_c^- = \{\phi\}, \quad \mathcal{F}_c^+ = \langle \psi \rangle \quad (\psi(a_i^1) = k, \psi(b_i^{j'}) = \psi(d) = 0)$$

$$\mathcal{F}_d^+ = \{\phi\}, \quad \mathcal{F}_d^- = \langle \psi \rangle \quad (\psi(a_i^1) = \psi(c) = 0, \psi(b_i^{j'}) = r)$$

$$\mathcal{F}_{a_i^1}^+ = \{X \subseteq \{b_{e_1}^1, \dots, b_{e_t}^t\} \mid 1 \leq e_i \leq y_i\}, \quad \mathcal{F}_{a_i^1}^- = \{\phi, \{c\}\},$$

$$\mathcal{F}_{b_i^{j'}}^+ = \{X \subseteq \{a_{e_1}^1, \dots, a_{e_s}^s\} \mid 1 \leq e_i \leq x_i\}, \quad \mathcal{F}_{b_i^{j'}}^- = \{\phi, \{d\}\}.$$

$(V, \mathcal{F}_a^\pm)$  が マトリクスになる部分では  $\mathcal{F}_a^\pm$  は集合族として表わしてある。